



# 瀬古由起子(日本共産党) 前衆院議員)の 介護の改善・充実

# 駆けめぐり

2005年7月16日 第4号 発行：日本共産党衆議院比例東海ブロック事務所 電話 052-264-0833 FAX052-264-0850  
ホームページ 佐々木恵昭衆院議員 <http://www.sasaki-kensho.jp/> 瀬古由起子前衆院議員 <http://www.seko-yukiko.gr.jp/>

## 介護事業所の訪問記

### 施設の介護は家庭の延長 特別養護老人ホーム・平田豊生苑

児玉克己さんという人の「黄泉(よみ)の国へ」という本にすっかり魅せられ、児玉さんが施設長をしておられる特養ホームの「平田豊生苑」(名古屋市西区平手町87)を訪問しました。タツプリとひげをたくわえた児玉さんは、困難も多からう仕事を、楽しくてしかたがないという様子で語ってくださいました。ここに生活している人は「住人さん」と呼ばれます。児玉さん自身、住人さんの一員としてなじんでいるようすがありあります。

#### 子どもたちといっしょに

ここは保育園と高齢者の合築型施設で、保育園児160人、高齢者84人(ショートステイ16人)が利用しています。足を踏み入れた途端、子どもたちのにぎやかな声が響き渡っていました。合築施設は他でも見られますが、たいていは1階と2階というように、画然と分かれています。しかし、ここではお互いが自由往来です。もちろん、法的、行政的にはいろいろ制約がありますが、差様々な工夫で最大限、壁が取り払われていました。子どもたちがバタバタ駆け回り、お年寄りがそれをニコニコながめる。時には、子どもたちが住人さんの部屋にきておやつをねだったりします。「あのばあちゃんはいいぞ」「あのじいちゃんはケチだ」とか、子どもたちは住人さんをよく知っています。

施設によっては入所者が亡くなると、「不安がらせないように」というので、他の人に知らせないでひっそり通夜を済ませるところもありますが、ここでは違います。全館放送で伝えられ、他の住人さんや職員はもとより、子どもたちもお花をもってお別れにやってきます。自分のおじいちゃんやおばあちゃんが亡くなったように、「死」を体験し理解するのです。そして職員には、お酒を飲みながら目一杯、思い出を語る「楽しい日」になるのだそうです。

#### 館内にも居酒屋が

玄関からはじめに案内されてお話を伺った場所は、入り口に何と大きな赤提灯。文字は当然「居酒屋」と書かれていました。1階フロアに大きくスペースをとったこの「喫茶店兼居酒屋」は、近所のボランティアの人たちが運営しています。お酒は毎日、昼間からでもOK。ちょっとビックリですが、ごく普通のご隠居さんであれば、むしろこれこそ老後の楽しみですから、不思議はないのだとナットク。だから、喫茶店で一日の大半をすごす住人さんもいます。また、食事時間も自由で、居住フロアの食堂で食べてもよし、喫茶店で食べても自由です。ここで月1回は夜のバーが開設され、楽しい「飲み会」が催されているそうです。

#### 原点となった「3つの指針」

最初から「素人集団で始めたのが良かった」と語る児玉さ

んですが、その出発から決めて実行した三つの「指針」があります。「制服はやめる」「役職で呼ばない」「同性介助」の三つです。その根本にあるのは、施設の生活は「家庭での生活の延長の場」(「黄泉の国へ」)だということです。じっさいに見学したあらゆる場面で、「自分が、自分の父母が、自分の祖父母がされたくないであろう介助はするまい」(同前)という姿勢と方針が貫かれているなど、よくわかりました。

この施設は夜も9時まで完全無施錠です。外出した住人さんを探して警察に、「あんたどこ、鍵かけないの?」とイヤ味をいわれながらごやかいかいをつけるのも度々ですが、「住人さんを閉じ込めることは、自分自身が安易に介護を放り出すこと。もちろん、事故が起きる可能性もありますが、職員は最大限の注意を払い、つねに家族の方にもこのやり方を理解していただくようにしています。そして「全員を監視しなくても、不安定な人はせいぜい数人なので、みんなで気をつけていけば克服できることです」と児玉さんは言います。

職員は、お風呂もいっしょに裸で入り、背中を流しあいます。あがると住人さんが、「まあ一杯」とビールをついでくれます。ビニールのオーバーオールに長靴などという、家庭ではあり得ないかっこうをすることは、ここでもあり得ません。そして、入浴やオムツ交換などは「性」を大切にするために同性介助なのです。

#### 「人間らしく」と海外旅行にも

「どこへ行きたい?」と聞いた答えが多かった香港への旅行にも。今までの「介護」の常識を打ち破り、日々「人間らしく生きる」ために戦の毎日です。

最近では、大枚をはたいて電動の車イスを購入。これに乗って外出できるように練習した人に「免許証」も発行しています。「10人くらいが電動車いすでいっせいに外出できたら」と夢を描いておられました。

介護保険が改悪されたことはここでも大きな心配ですが、「将来は障害者もいっしょに利用できないか。障害者から教わることはいっぱいある」と、前向きに検討しながら、児玉さんの夢は広がります。

#### 「黄泉(よみ)の国へ」定価 1000円

みちのりは決して「順風満帆」ではなかった。今も困難もある。しかし住人さんたちと歩んできた道筋をたどり、「支えあい、ふつうに生きる」原点をみつめる書として、多くの施設で働く人々への「一服の清涼剤」としてこの本は世に出された。

発行者：平田豊生苑 電話052-505-7201

#### 【瀬古由起子ホームページ】

<http://www.seko-yukiko.gr.jp/>

#### 【瀬古由起子の無料介護相談】

毎月第3火曜日。どんな相談でもお気軽にお電話ください。052-261-5901